

資料1

令和7年度
生涯学習推進計画の主要事業について
(取組予定)

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(1) 「学び」と「活動」の 情報提供の拡充 ① 「学び」と「活動」の 一元的な情報提供	1	「まなびネットひまわり」（管理運営）	総務市民局 生涯学習総合センター	ホームページ「まなびネットひまわり」を活用して、市内の生涯学習に関する学習機会や講師の情報等、様々な情報を一元的に提供し、生涯学習活動の促進を図る。	221	217	233	学んだ成果を自ら活動に踏み出せるよう、「いつでも・どこでも」、学習から活動、活動から学びへとつなげられるように情報の一元化に努める。また、「まなびネットひまわり」が多くの方に利用していただけるように、様々な機会を捉えて周知する。
	2	高齢者いきがい活動支援事業	保健福祉局 長寿社会対策課	高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア・生涯学習情報等に関する情報の収集・提供等を行う。	8,834	9,700	12,708	スマホ講座や終活等、高齢者の新たな情報ニーズに対応するとともに、関係機関と連携し、就労支援機能の付加等、高齢者の生涯現役を応援する総合窓口への機能強化を図る。
	3	生涯学習総合センター情報発信事業（旧 生涯学習総合センターだより「まいなび21」の発行）	総務市民局 生涯学習総合センター	生涯学習総合センター主催事業や生涯学習関連情報等を掲載した市民向けの情報紙を発行する。	259	予算措置なし	予算措置なし	R7年3月北九州LINE公式アカウント作成。「市民カレッジ」「気ままにセミナー」の情報を定期的（基本的には週1回）に発信する。
(2) 気軽に相談できる 体制づくり ① 「学び」の相談体制 づくり	4	生涯学習総合センター学習相談事業	総務市民局 生涯学習総合センター	施設ボランティアの協力のもと、学習相談コーナーを定期的開設し、生涯学習に関する様々な相談にきめ細かく対応する。	予算措置なし	予算措置なし	予算措置なし	施設ボランティアの協力のもと、生涯学習相談やパソコンなんでも相談等を毎週実施する。 R6年9月からは、パソコン相談とは別に週1回スマホ相談を実施、R7年度も引き続き実施する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(3) 多様な「学び」の機会 の提供 ① 「学び」のきっかけ づくり	5	生涯学習市民講座の 充実	総務市民局 生涯学習課	市民の学習活動を支援し、一人一人が健康で心豊かな生活を送り、個人のいきがいづくりや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、地域課題や社会的課題を解決するため、各市民センター等で幅広い分野にわたる講座を実施する。	8,966	9,781	9,782	より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、多くの方に多様な学習機会を提供していく。 また、オンラインやウェブ動画を活用した講座を実施できるよう、オンライン環境の整備を進めるとともに、市民センター館長・職員等の研修を充実させる。
	6	北九州市民カレッジ 事業	総務市民局 生涯学習総合センター	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進及び「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。	2,936	4,134	4,058	現役世代や新規受講者を獲得するため、R6年度前期との比較では、まち・教養系講座のスポットを3講座増、高等教育機関提携コースのスポットを5講座増としている。また、高等教育機関提携コースでは、地域活動につながる講座の開講に向けて各大学等と4月中に協議を行った。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ①「学び」のきっかけ づくり	7	北九州ひとみらいプ レイスの充実	総務市民局 八幡西生涯学習 総合センター	各施設の特徴や専門性を生かし、子ども から高齢者まで、年齢、国籍、文化、障害 の有無を問わず、若者成長の支援、あらゆる 世代の学びの充実、さまざまな団体の活 動支援、すべての市民の交流促進に取り組み、 幅広い人づくりを支援する。	3,013	2,600	7,310	「人づくり支援事業」において グローバル人材育成の要素も取り 入れた若者支援事業を実施する。 また、「にぎわい創出事業」の実 施内容について検討を重ね、他団 体との連携や業務委託の見直し等 を行うことにより、効率的な事業 実施とコスト削減を目指す。ひと みらいプレイス構成施設間の連携 強化を図り、多様な層の参加・交 流促進に繋がる事業を行ってい く。
	8	年長者研修大学校 (周望学舎・穴生学 舎)	保健福祉局 長寿社会対策課	高齢者に対して教養、健康、レクリエー ション等の研修の場を提供することによ り、高齢者の生きがいづくり、健康づくり 及び社会活動の促進を図る。修了生の組織 でボランティア活動を実施する。	140,047	146,483	160,760	地域活動を担う人材育成の場と しての機能強化と、新たに就労支 援やDX等の取組みを進めていくこ とを目的として、両学舎合わせて 32コースの講座を開催するととも に、他部局事業との連携強化を図 る。
	9	ESD推進事業	環境局 環境学習課	持続可能な社会の実現に向けて、産学官 民の多様な主体から成る「北九州ESD協議 会」をプラットフォームとして、環境はも とより人権・平和など幅広い視野から総合 的に取り組む人材の育成を図る。 【ESD=持続可能な開発のための教育】	18,889	16,000	14,000	各委員会（活動委員会、未来創 造委員会、合同委員会）により、 会員が主体となったESDの推進を 促進する。 また、未来創造委員会を中心と した持続可能な社会づくりの主役 となる次世代が主体となって、 ESDに関する各種事業を実施し、 次世代の人材育成に努める。ま た、会員による「出前講座」を通 じて、市民に対するESDの啓発・ 普及を図る。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ①「学び」のきっかけ づくり ②ライフステージや多様 性に応じた学習機会の 提供・充実	10	デジタル活用講座	政策局 DX・AI戦略室	社会のデジタル化が進展する一方、2020 年市民調査では約25%の市民がインター ネットを利用していない状況であり、イン ターネット未利用理由で上位の「機器操作 が難しい」等の課題に対応するため、高齢 者等、スマートフォン等の操作に不慣れな 方がスマートフォン等の操作にチャレンジ するための第一歩となるような講座を市民 センターと連携して実施する。	53,442	予算措置 なし	4,600	R7年度は、市民センターでのデ ジタル活用講座に加え、移動型ス マホ教室（スマホなんでもサポ ート号）の実施や、行政デジタル サービスの市民向け体験イベント 等を実施する。
	11	育児サークル・フ リースペース活動へ の支援	子ども家庭局 こども若者成育課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的 な活動を行えるよう育児サークルを支援す る。また、自由に参加・利用できるフリー スペースの活動を支援するとともに、地域 で子育てをしやすいシステムづくり、仲間 づくりを支援する。	5,764	5,390	5,922	コーディネーターを継続配置 し、子育て支援団体の横の繋がり や、「親子ふれあいルーム」など との更なる連携を図る取組を実施 する。
	12	親子ふれあいルーム 運営事業	子ども家庭局 こども若者成育課	子育て中の親と子が気軽に集い、相互に 交流を図る場である親子ふれあいルームを 運営し、施設の充実や利用日の拡大、相談 対応の充実などの機能強化を図る。また、 市民センターをはじめ、子育て支援団体、 育児サークル等と連携し、ネットワーク化 を図るなど、地域における子育て支援に取 組む。	37,961	38,627	43,207	親子ふれあいルームの質の向上 や利用促進を図るため、運営ス タッフへの研修の実施や施設整備 等、更なる取組を検討していく。
	13	青少年体験活動の啓 発・広報の推進	子ども家庭局 こども若者成育課	市や市民団体・NPO団体等が実施してい る青少年体験活動についての情報発信を行 う。	948	824	1,100	掲載団体増に伴い、体験活動情 報誌「キッズチャレンジ」ページ 拡大予定

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ②ライフステージや多 様性に応じた学習機会の 提供・充実	14	【新規】 大学生×市民セン ターによる地域共創 プロジェクト	総務市民局 生涯学習課	地域の再生と創造に貢献できる人材の養成を目的とする北九州市立大学地域創生学群の学生を市民センターで受け入れ、定期的な活動を行うことで、実践を通じた学生の地域への理解を促すとともに、市民センター事業の活性化を目指す。			520	大学生の定期的な市民センターや地域活動への参加を通して、大学生が地域に必要と考える講座等を企画する。また、大学生が市民センターや地域住民と協働し、事業を実施する。
	15	北九州市立大学 i-Designコミュニ ティカレッジ	政策局 総務課	当カレッジのためにデザインされた必修科目と、大学の多彩な科目の中から学生と一緒に学べる科目等を選択できるプログラムを提供し、社会人の学び直しを支援する。	大学の予算事 業のため予算 措置なし	大学の予算事 業のため予算 措置なし	大学の予算事 業のため予算 措置なし	R7年度は、「地域創生」、「こころの科学」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのデータサイエンス基礎」の4つの領域を開講する。なお、「こころの科学」領域は、昼夜開講を継続する。 次年度、魅力ある新たな領域の開講に向けた準備を進めるとともに、引き続き、広報活動を幅広く行い、より多くの履修生受入れを目指す。
	16	日本語教育体制整備 事業	政策局 国際政策課	日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民のために、日本語教室を運営するとともに、市内で日本語学習支援を行っているボランティアグループ（13団体）との連携や、助成金の交付、広報協力、スキルアップ研修などを実施することで、日本人と外国人の相互理解および学習機会の充実を図る。	10,017	6,530	8,964	引き続き、北九州国際交流協会が直接運営する日本語教室のプログラム強化や市内の日本語教室との連携を図るとともに、外国人受入団体（企業・夜間中学校など）に対する日本語学習支援として、ヒアリングや日本語教師派遣を行う。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ②ライフステージや多様 性に応じた学習機会の 提供・充実	17	社会参加講座開催事業 (障害者福祉会館の 指定管理事業の一部)	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人の日常生活に役立つ知識の 習得や、社会参加の促進を図る。	1,658	1,716	1,160	引き続き、障害のある人の自立 の援助や生きがいを高める講座を 開催していく。 講座についてのアンケート等を 元に内容を精査し、ニーズに基づ いた講座を充実させることによ り、参加者数の増加を図る。
	18	障害者スポーツ教室 等開催事業	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人がスポーツを通じて体力の 維持・増強、機能回復を図る。	2,360	障害者スポ ーツ振興事業に 含む	障害者スポ ーツ振興事業に 含む	障害者スポーツセンターや障害 者スポーツ協会を中心に、地域で の活動を支援していくとともに、 パラリンピックで注目された種目 を取り入れるなど、障害者スポ ーツを通じた共生社会のまちづくり を進める。
	19	北九州市障害者芸術 祭	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人の芸術・文化活動への参加 を通じて、本人の生きがいや自信を創出 し、社会参加を推進するため、北九州市障 害者芸術祭（ステージイベント、作品展） を開催する。	2,400	2,360	2,360	芸術文化応援センター（東部障 害者福祉会館内）等の関係機関と の連携を強め、事業の周知等を充 実するとともに、関連するイベン ト（ふれあいフェスタ）との一体 的な開催を継続し、魅力的なイベ ント内容とすることにより、参加 者数・来場者数の更なる拡大を図 る。
③現代的・社会的な課題 の解決に向けた学習機 会の提供・充実	20	人権市民講座	教育委員会 企画調整課	人権問題に関する市民の正しい理解と認 識を深めるため、市民センターにおいて人 権学習を推進する。	8,182	7,306	7,306	市民が親しみやすい人権市民講 座等を開催できるように、題材や 学習内容・方法など工夫を行う。 また、講座にとらわれず、ミニ 講話など、日常的に人権啓発に触 れる機会を提供する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ③現代的・社会的な課題 の解決に向けた学習機 会の提供・充実	21	企業や地域等での ワーク・ライフ・バ ランスの取り組み支 援	政策局 WomanWill推進室 (旧 総務市民局女 性の輝く社会推進 室)	企業等の事業者に対して、仕事と子育て 等との両立への理解促進や働きやすい職場 環境づくりを働きかける。 また、毎年11月をワーク・ライフ・バラ ンス推進月間とし、その意義や必要性を企 業等事業者や市民に周知する。	3,069	4,359	2,250	仕事と生活の両立が図られてい ると感じる人の割合が上昇するよ うに、表彰の実施や企業へのセミ ナー講師の派遣、各種セミナーの 開催等、企業への支援を継続して 実施するとともに、事業の效果的 なPRを図る。
	22	読み聞かせ・読書ボ ランティア養成講座	教育委員会 子ども図書館	読書を通して、子どもの豊かな感性と知 的好奇心を育むため、読み聞かせなどが行 えるボランティアの育成を図る。	250	311	266	読書をする子どもを増やすに は、大人の協力は欠かせない。子 どもが読書活動に親しみ、読書の 大切さを知ることができるよう、 力強く支える大人を増やし、市立 図書館や学校など市内で活動し ている読み聞かせボランティアなど 読書に係るボランティアの育成、 連携支援に取り組む。
	23	・DIG（住民参加型 災害図上訓練） ・HUG（避難所運営 ゲーム）	危機管理室 危機管理課	DIG（ディグ）は、参加者が自分たちの 住むまちの地図を囲み、書き込みを行いな がら議論することで、わかまちに起こりう る災害像をより具体的にイメージできる訓 練。 HUG（ハグ）は、避難所に見立てた模造 紙や避難所に見立てたカードなどを活用 し、参加者がプレイヤーとなり、避難所 で起こる様々な出来事に対してゲーム感覚 で避難所の運営を学ぶ訓練。	355	480	480	市のホームページやSNSでの広報 等を通じ、広く市民へ参加を呼び 掛け、事業展開していく。 また、中学生を対象としたJ- DIGの実施についても参加校を増 やせるように、教育委員会と連携 し、効果的に取り組んでいく。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
④生涯学習実施機関の ネットワークによる 学習機会の充実	24	学びから活動への仕 組みづくり	総務市民局 生涯学習総合セン ター	行政や大学など様々な学習の場で、学んだ人にアンケートを行い、「学んだ成果を活動に活かしたい」と答えた人を、市民センターや市民活動推進課、ボランティア・市民活動センターを通じて、活動を行っている団体（自治会・まちづくり協議会、NPO、ボランティア等）へとつなぐ事業を実施する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	市民カレッジの講座単位にメーリングリストを作成、受講後のアンケートや情報提供などのフォローを行うことで、学びから活動への取り組みを推進する。
(4) 学びと活動の場づくり ①学んだ成果を生かす 仕組み	25	「まなびネットひまわり」（講師登録及び依頼）	総務市民局 生涯学習総合セン ター	「まなびネットひまわり」の機能である講師登録及び、講師を依頼したい人と登録講師とのマッチングをすることで「学び」と「活動」の循環を目指す。	番号1「まなびネットひまわり」を含む	番号1「まなびネットひまわり」を含む	番号1「まなびネットひまわり」を含む	講師情報の活用並びに講師登録数を増やすため、様々な機会を捉えて周知する。
	26	市民センタークラブ	総務市民局 生涯学習課	生涯学習市民講座終了後、さらに継続的な学習を希望する人々で作られたクラブや自主的なサークル活動からスタートしたクラブ活動を支援、促進する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	R6年度に引き続き、要項改正による影響や効果を検証するとともに、市民センター利用緩和による影響も注視していく。
	27	【新規】 サステナブルアクション推進事業	環境局 環境学習課	市民向けに、環境に配慮した行動への変容を促すことを目的に、環境イベントの実施や電子ポイントの活用により、市民の具体的な行動変容を促す。			11,908	環境イベントの実施や電子ポイント制度の実施を検討している。
②生涯学習関連施設の 整備	28	美術館企画展充実事業	都市ブランド創造局 美術館	美術館において、多彩で魅力ある展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	154,190	110,025	108,818	50周年記念事業の成果を弾みとして、さらなる集客増に向け質が高く、独自性豊かな企画展（5回）を開催する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ②生涯学習関連施設の 整備	29	博物館企画展・特別 展充実事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	入館者の増加につながる、魅力ある大型 特別展を開催し、さらなる賑わいの創出を 図る。	54,412	55,500	71,275	入館者の増加につながる、魅力 ある大型特別展を開催し、東田地 区のさらなる賑わいを創出する。 また、令和7年度が昭和100年に当 たることから、昭和の時代をおも ちゃで振り返る企画展を開催す る。
	30	平和のまちミュージ アムの運営	総務市民局 平和のまちミュージ アム事務局	戦争被害、戦時下の人々の暮らし等に関 する資料の収集、保存、展示等を行うこと 等により、戦争の悲惨さを伝え、もって市 民が平和の大切さや命の尊さを考えるきつ かけとする。	40,691	22,953	25,652	集客力のある企画展・イベント 等を実施し、平和のまちミュージ アムへの更なる来館者増を図ると ともに、学校や地域と連携し、平 和学習の拠点施設としての機能向 上を図る。 また、戦争体験や戦時資料の保 存・継承にも努める。
	31	北九州市科学館ス ペースLABO運営経費	都市ブランド創造局 科学館	北九州市科学館スペースLABOを魅力ある 施設として運営することにより、将来を担 う技術系人材の育成を図るとともに、修学 旅行生や観光客を呼び込むことで、東田地 区全体の賑わいに寄与する。	472,889	503,632	525,864	スペースLABOの運営を通じて、 将来を担う技術系人材の育成を進 めるとともに、幅広い世代の来館 を図るため、近隣施設と連携した 取組を実施し、東田地区全体の活 性化にも務める。
	32	折尾まちづくり記念 館の運営	総務市民局 地域振興課	折尾のまちづくりの歴史に関する情報の 収集及び提供を行うとともに、住民等の交 流及び自主的活動の場を提供することによ り、折尾のまちづくりを推進する。	17,510	17,510	17,510	【指定管理】 施設の設置目的への理解度を深 めるとともに、体系的で計画的な 事業の展開を行う。 また、折尾のまちづくりに資す る施設として、まちづくりの視点 で、地域との連携の強化を図る。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(1)「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成 ①地域ボランティアの発掘・育成	33	ボランティア活動推進事業 (旧 地域福祉ボランティア研修事業+ボランティア活動促進事業)	保健福祉局 地域福祉推進課	災害ボランティアセンターの運営、ボランティアコーディネート、ボランティア団体の活動支援、関係機関との連携、情報収集・発信、講座等を実施。ボランティアの研修から活動支援までを一体的に支援する。	30,934	25,300	49,720	研修受講後に実際の活動につながるまでの一貫した支援を行い、市民のボランティア・市民活動への参加を促進し、地域福祉の向上をより一層図っていく。
	34	NPO・市民活動促進事業	総務市民局 市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・市民活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、講座の開催、NPO法人設立・運営支援などを行う。	15,890	17,397	20,867	NPO・ボランティア活動の促進や市民活動団体等との協働促進のため、市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動の側面的支援を行う。
	35	みんな de Bousai まちづくり人材育成事業	危機管理室 危機管理課	大学と協働し、防災科目を新設するなど、市内の大学生を対象に、防災教育を実施し、学生自身が災害時に主体的に判断し行動できる知識を身につけ、地域コミュニティにおいて新たな地域防災の担い手として活動できる人材を育成する。	438	1,608	1,314	引き続き、対面での授業に加え、オンラインでのライブ配信やアーカイブ配信を行い、学生に多様な学習の機会を提供することで、地域防災を担う人材の育成を行う。
	36	子育てネットワークの充実	総務市民局 生涯学習課	子育て中の親子を温かく迎え入れ、身近な相談相手になるとともに、親子同士をつなぎ、親子の成長を地域で見守る環境づくりのため、「子育てサポーター」を育成する。	488	270	270	子育てサポーター登録者数の増加及びフォローアップ研修の内容の充実を図る。 子育てサポーター養成後、実際の活動につながるよう、子育てサポーターが活躍できる講座の開講や活動の場の提供など、活動の充実を図る。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
②地域リーダーの発掘・ 育成	37	住民主体の地域づくりの促進	総務市民局 地域振興課	地域コミュニティの重要性の理解促進を図ることを目的とした各種事業を通じて、住民主体の地域づくりを促進する。	652	2,006	2,312	地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくり協議会や、地域で様々な取組を行う各種地域団体等に対し、各種支援事業などの地域ニーズに応じた施策を展開する。
	38	地域力アップセミナー	総務市民局 生涯学習総合センター	地域への帰属感や連帯感を共有でき、学んだ成果を地域で活かすことができる人材の育成を目的としており、受講生が自ら学習し、主体的に関わることで地域づくりを実践的に学ぶ講座となっている。	柱1番号6「北九州市民カレッジ事業」を含む	柱1番号6「北九州市民カレッジ事業」を含む	柱1番号6「北九州市民カレッジ事業」を含む	実施方法、回数、時間とも昨年度と同様に開催。今年度は新たに「対話」と「伝える」を重視して、新たな講師を招聘する。特にファシリテーションについては、R6年度よりも倍の時間をかけて講義を実施する。
	39	健康づくり推進員養成・活動支援事業	保健福祉局 健康推進課 (～R6：認知症支援・介護予防課)	市民主体の健康づくりを推進するため、地域における健康づくり活動のリーダーの育成を行う。	3,884	3,918	4,026	地域での健康づくり・介護予防活動を安全に継続できるよう支援を行う。今年度は、高血圧予防・フレイル予防・オーラルヘルスに関する活動を柱とする。
	40	生涯学習指導者育成セミナー	総務市民局 生涯学習課	地域課題に対する地域福祉活動、まちづくり推進活動、子育て活動などに総合的に取り組める、生涯学習を推進するための人材育成を目指す。	750	750	750	講座内容の見直しとより一層の充実、情報周知の強化を行い、受講希望者の増加を図る。
	41	地域における女性リーダー育成セミナー (旧・女性リーダー国内研修)	総務市民局 生涯学習総合センター	人材育成事業の一環として、地域活動の担い手、リーダーを目指す女性を対象に実施するもの。地域活動をするうえで必要な視野や視点を育むとともに、課題解決に向けて自分に何ができるかを考え、行動する力を育む。	101	166	122	R6年度は応募者がなく中止となったため、企画段階から関係課、団体と協議を行い、研修プログラムを作成。また、受講者を確保するため、新たに市政だよりを活用したり、まち協や婦人団体等に対してもきめ細やかに広報を行う。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(2)「学び」と「活動」を つなぐ人材の発掘・育成 ①「学び」と「活動」を コーディネートする 人材の発掘・育成	42	社会教育・生涯学習 関係職員研修の充実	総務市民局 生涯学習課	社会教育施設や市民センター、地域にお ける学習・交流の機会の提供は、現代的・ 社会的課題の解決に向けてますます重要に なってくる。 今後もこれらの施設で、多様かつ有効な 生涯学習事業等を推進することができるよ う、関係する職員等の研修の充実を図る。	434	639	639	研修の中で、社会教育・生涯学 習事業に関する事例発表や市民セ ンターの館長同士、職員同士の情 報交換を行う機会を設ける。
	43	生涯学習推進コー ディネーター配置事 業	総務市民局 生涯学習課	全市の生涯学習推進コーディネーターが 一堂に会し、意見交換や情報交換を行い、 交流を深めることで、より地域の学びと活 動を活性化する専門人材となるよう研修会 を実施する。	2,501	2,561	2,561	生涯学習推進コーディネーター 配置の意義、効果に加え、人材の 見つけ方など、市民センター館長 に社会教育主事等が助言しなが ら、配置割合の増加に向け取り組 む。 また、生涯学習推進コーデ ィネーターを地域の人材として育成 するための研修を実施し、研修で 学んだ内容を実践につなげられる ように支援を行う。
	44	地域学校協働活動推 進員（地域学校協働 活動事業）	教育委員会 次世代教育推進課	地域等と学校とのパイプ役として、学校 の要望に応じて、スクールヘルパー等の人 材を発掘し、「地域学校協働活動」を推進 する。	柱3番号55 「コミュニ ティ・スкуль 事業」に含 む	柱3番号55 「コミュニ ティ・スкуль 事業」に含 む	柱3番号55 「コミュニ ティ・スкуль 事業」に含 む	地域学校協働活動推進員への研修 を行い、地域全体で子どもたちの 成長を支え、地域を創生する活動 を推進する。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(1) 「学び」と「活動」による 仲間づくり ① 「学び」と「活動」を きっかけにした仲間 づくり	45	家庭教育学級の充実	総務市民局 生涯学習課	家庭の教育力の向上をめざし、保護者が 家庭で子どもの教育をする心構えや、子ど もとの接し方、教育上の留意点などを相互 学習の中で主体的に学習する場として開設 する。	1,546	1,542	1,542	R6年度に行った実施形態の見直し による影響や効果を検証してい く。 また、市民センターでの家庭教 育講座等に参加できない保護者向 けの取り組みとして、引き続き家 庭教育力の向上や子育て支援につ ながる動画等をインターネットで 配信し、情報提供を行う。
	46	地域・子ども交流事 業	総務市民局 生涯学習課	地域の特色を活かし、地域ぐるみで子ど もを見守り育てる意識を高めることを目的 に家庭・地域・学校等が連携して、世代間 交流や様々な体験活動の機会を提供する。	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	引き続き、家庭・地域・学校等 が連携した、世代間交流や様々な 体験活動の機会等を提供してい く。 また、工夫した取り組み事例を 市民センターで紹介することで、 事業全体の充実を図る。
(2) つながりから生まれる 地域への愛着・誇り ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	47	伝統文化の発掘・継 承	都市ブランド創造局 文化企画課	指定無形民俗文化財保存団体の継承・保 存活動を育成・支援する。	1,077	938	840	市内の指定文化財について、そ の保存・継承と普及・啓発を支援 するため、相談体制の維持と活動 に関する補助金を交付している。 引き続き、優先順位をつけなが ら文化財の保存・活用に努める。
	48	文化財の保存・継承	都市ブランド創造局 文化企画課	文化財の指定等にかかる諮問機関の運営 等、文化財の保護、適切な管理のための取 組みを推進する。	208	955	14,873	文化財の指定、保存管理、購入 及び埋蔵文化財の発掘調査を実施 し、市内の文化財を保護・活用し ていく。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	49	博物館セカンドス クール事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	いのちのたび博物館を「第2の学校（教室）」と位置づけ、博物館への誘致事業・学校教育支援事業・家庭教育支援事業の3つの柱をかかげ、学校教育現場と博物館の結びつきの強化を図る。	1,351	2,300	2,070	R6年度に刷新した団体見学者用のチラシを活用し、修学旅行等の誘致活動を強化する。 市民センター等での館外でのイベントで、博物館の周知を行い、集客向上につなげる。 館内授業や出前授業、ICTを活用したオンライン授業などで、学校との連携を深め、学校教育支援に取り組む。 市内・市外の教員を対象にした教員研修を実施し、社会見学等の誘致に向けた活動に取り組む。
	50	生涯スポーツ振興事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	各区における地域スポーツの普及振興を図るため、ニュースポーツ用具の整備及び各種交流大会を実施する。	14,917	14,646	14,646	引き続き、各競技団体への補助金を通して、スポーツ教室やニュースポーツ体験会、指導者養成講座などを継続して実施することにより生涯スポーツの振興を図る。
	51	総合型地域スポーツ クラブ育成・支援事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	子どもたちをはじめ地域の住民が誰でも、どこでも、いつでもスポーツを楽しむことができるよう、総合型スポーツクラブへの育成・支援を行う。	2,496	2,400	2,400	R6年度同様、総合型地域スポーツクラブへの補助金を通して、市内9スポーツクラブの活動を継続的に支援する。
	52	北九州マラソン開催 事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	スポーツの振興やまちのにぎわいづくりを図るため、1万人規模のマラソン大会を開催する。また、全国から参加するランナー等への食のおもてなしやコース沿いに位置する観光資源を通して、本市の魅力をもPRし、シビックプライドの醸成を図る。	87,893	74,040	74,407	初心者でも参加しやすい種目の検討を行い、市民参加型のイベントを開催する。また北九州マラソン独自の食のおもてなしや、コース沿いに位置する観光資源を通して、北九州市の魅力をもPRし、シビックプライドの醸成を図る。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	53	ホームタウン推進事 業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウン等 とする、トップスポーツチーム等の市民観 戦事業や体験教室の開催など、市民がス ポーツに親しむきっかけ作りを実施。	50,986	58,000	55,000	R6年度同様、トップスポー チーム同士の連携を強化し、市民 観戦事業や体験教室の開催など、 市民に愛されるチームになるよう な取組を行うと共に、市民がス ポーツに親しむきっかけ作りを実 施し、市民のスポーツ観戦率の向 上を図る。
(3) 学校と家庭・地域が つながる教育力の向上 ①家庭教育支援の充実	54	親力アップ情報発信	総務市民局 生涯学習課	核家族化や共働き世帯など、子どもや家 庭を取り巻く環境の変化に合わせて、い つでもどこでも家庭教育の役立つ情報が得ら れるよう、子育て支援につながる情報提供 を行う。	1,331	1,188	1,188	これまで制作したコンテンツを活 用し、より多くの保護者へ情報が 届くよう、PR等に力をいれると ともに、新たなテーマを追加し充 実を図る。
②家庭・地域・学校の 連携促進	55	コミュニティ・ス クール事業	教育委員会 次世代教育推進課	学校運営及び学校運営に必要な支援に関 して協議する「学校運営協議会」を設置、 地域住民が学校運営への参画を促進し、学 校と地域との連携を促進し、「地域ととも にある学校づくり」を進める。	22,540	27,178	28,000	地域学校協働活動推進員への研 修を行い、地域全体で子どもた ちの成長を支え、地域を創生する活 動を推進する。
③地域における子ども たちの発達・育成を 促す環境づくりと 体験活動の推進	56	地域学校協働活動事 業	教育委員会 次世代教育推進課	多くの幅広い層の地域住民、団体等が参 画し、また、活動を通じて地域社会全体の 教育力の向上を図り、地域全体で子ども たちの成長を支え、地域を創生する活動 を推進する。	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	地域学校協働活動推進員への研 修を行い、地域全体で子どもた ちの成長を支え、地域を創生する活 動を推進する。
(続き) ③地域における子ども たちの発達・育成を 促す環境づくりと 体験活動の推進	57	青少年ボランティア ステーション推進事 業	子ども家庭局 子ども若者育成課	青少年の成長に欠かすことのできない 様々な体験活動等を通じ、青少年が社会の 構成員として規範意識や社会性、協調性等 を身に付けることができるよう、青少年ボ ランティアステーションを拠点に、青少年 の体験活動を支援、促進する。	1,405	1,400	1,400	①令和6年度同様、ホームページ を活用したボランティア情報のさ らなる充実を図る。 ②コロナ禍の終焉に伴い増加して きたイベント関連ボランティアを 通じて多くの青少年に活動の場を 提供する。 ③ボランティア実施後に送られて くる青少年の意識をより多面的に 分析して、今後のボランティア企 画に繋げていく。 ④青少年のボランティア活動参加 申請を電子化することにより、こ れまで以上に手軽に申請できるよ うにする。